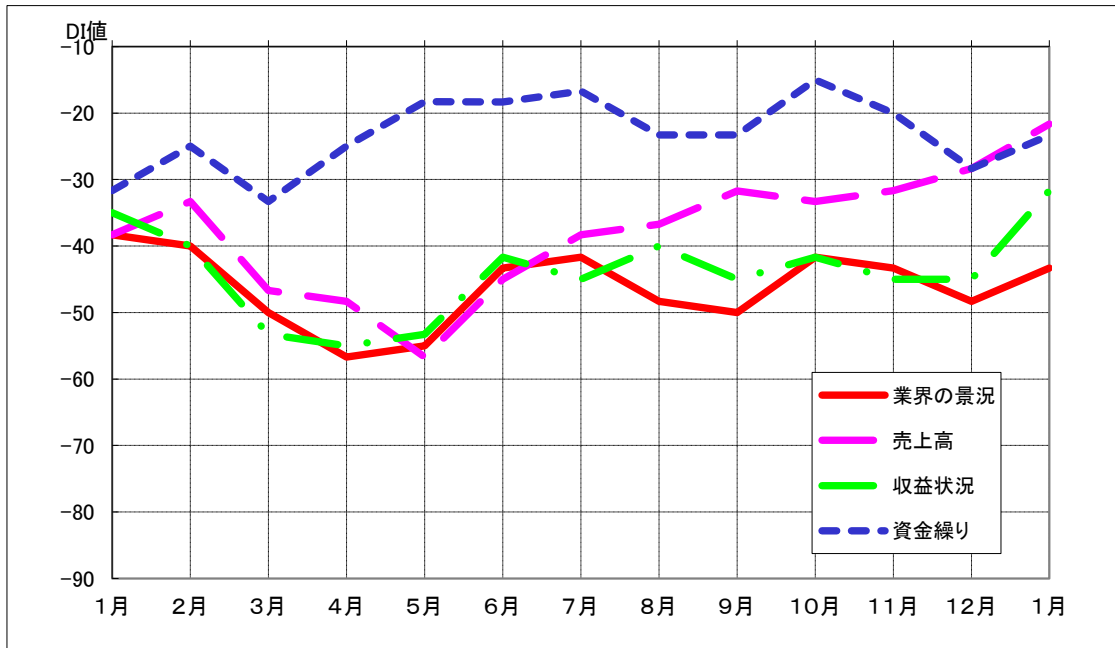


業界の景気動向(前年同月比)全業種DI値

平成23年1月～平成24年1月

(にいがた中小企業情報掲載用)

単位:ポイント



	H23												H24
	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月
業界の景況	-38.3	-40.0	-50.0	-56.7	-55.0	-43.3	-41.7	-48.3	-50.0	-41.7	-43.3	-48.3	-43.3
売上高	-38.3	-33.3	-46.7	-48.3	-56.7	-45.0	-38.3	-36.7	-31.7	-33.3	-31.7	-28.3	-21.7
収益状況	-35.0	-40.0	-53.3	-55.0	-53.3	-41.7	-45.0	-40.0	-45.0	-41.7	-45.0	-45.0	-31.7
資金繰り	-31.7	-25.0	-33.3	-25.0	-18.3	-18.3	-16.7	-23.3	-23.3	-15.0	-20.0	-28.3	-23.3

○1月のDI値は前年同月に比べ、3項目で改善し、1項目で悪化した。「売上高」DI値は16.6ポイント、「収益状況」DI値は3.3ポイント、「資金繰り」DI値は8.4ポイントそれぞれ改善し、「業界の景況」DI値は5ポイント悪化した。前月比で見ると、「業界の景況」DI値は5ポイント、「売上高」DI値は6.6ポイント、「収益状況」DI値は13.3ポイント、「資金繰り」DI値は5ポイントそれぞれ改善した。製造業では、生産・出荷の低調や短納期への対応の苦慮が、非製造業では降雪に伴う需要・売上の減少傾向が続いている。総じて、先行きの見通しが立たず不安要素も大きいとの声が多くなっている。

○組合の特記事項からは、一般機器製造業では組合内でも中国向け設備機械関連の受注が減少しているという声が出ている。一方、製材業からは受注・見積もりとも少ないこの時期だからこそ、より営業の強化に努めているという前向きな声も出ている。非製造業では商店街を中心に、降雪、天候不順の影響により客数、売上が減少しているという声が多い。また、行政庁・中央会に対する要望事項として燕の建設業より、災害復旧の発注が現地に偏りすぎるため、門戸拡大を望む声があった。